

島の特産品をより身近に

久米島産車海老が提供されました

1月27日、島内の小中学校の給食に、久米島産車海老が沖縄県車海老漁業協同組合から提供されました。

本取り組みは、学校給食を生きた教材とし、久米島の地場産物である車海老への理解、地元への愛着を深めることを目的としており、車海老は塩焼きとして給食のメニューに加えられました。

給食を食べる前には、各小学校の5・6年を対象に車海老生産者からの講話も行われ、質問コーナーでは児童より「海老はどこがおいしいの?」「海老は1日どれくらいとれますか?」など質問が行われ、実際に食べた際には口々においしいと感想を述べていました。



育てよう 久米島の書道文化

第22回久米島町新春書道展

1月28日、29日の2日間、具志川改善センターにて、第22回久米島町新春書道展が開催されました。

児童・生徒の部472点(小学生319点、中学生153点)、一般の部29点(高校生含む)計501点が出品され、その中から特別賞16点、金賞51点、銀賞71点、銅賞303点が選ばれました。児童生徒の部で沖縄県知事賞を受賞した大岳小4年の古見友音(ゆあん)さんは、「4歳から習字を始め、聞く・見る・書く



ことの大切さを学び、一生懸命練習をしました。周りで支えてくれた人に感謝し、来年の新春書道展も頑張ります。」とあいさつしました。

また今回、一般の部では高校生の頑張りが目立ち、7つある特別賞の内5つに高校生が入賞しました。

飲酒運転根絶に向けて

飲酒運転根絶に向けた協働行動締結式

2月1日、役場仲里庁舎において那覇警察署と久米島の2社の酒造場である久米島の久米仙、米島酒造と飲酒運転撲滅のピンパッジ及びリストバンドの普及促進を目的とした協働行動締結式が執り行われました。

県内の飲酒運転の事故の発生は全国平均の2.5倍、死亡事故は5倍となっており、27年連続で全国最多となっている状況で、県警では飲酒運転の根絶を目指し、県民一人一人が目に見える形で飲酒運転をしないという意思表示をしようという考えのもと、サンダーをモチーフとして赤いピンパッジと飲酒運転根絶の文字が入ったリストバンドが作成されました。今回の締結式では締結後に作成されたピンパッジとリストバンドが久米島の久米仙の島袋正也代表取締役と米島酒造4代目の田場俊之氏が贈呈され、両社ともに飲酒運転の根絶を誓いました。



沖縄国際大が卒業生に久米島の工芸品贈呈が決まる!

久米島紬(名刺入れ)と久米島産ハブ皮使用(キーホルダー)のセット

平成29年3月17日に開催される「沖縄国際大学卒業式」で卒業生約1470名に「沖縄国際大学校友会」から卒業記念品として久米島紬(名刺入れ)と久米島産ハブ皮使用(キーホルダー)のセットが贈呈されます。沖縄国際大学校友会は、これまでは県外製品を採用していましたが、平成27年5月に同校友会の久米島支部発足を機に、国吉浩樹支部長が登野原功会長に提案して採用が決まりました。久米島支部では、今回の採用に

より久米島特産品の消費拡大に繋がると共に、同校の卒業生を通して久米島の伝統工芸品が全国に発信することにより、久米島町の活性化と宣伝にも繋がることが期待できることから次年度以降も継続してもらえるよう提案していく予定とのことです。



今年初の牛セリ開催

久米島家畜市場にて初セリ開催

久米島家畜市場で1月18日に初セリ開催されました。初セリに伴いセレモニーも催され、多くの関係者が参加しました。

セレモニーではテープカットの後、崎原勲JAおきなわ常務理事による主催者代表あいさつ、大田町長、長嶺豊 沖縄県農林水産部農林水産統括官による来賓祝辞、幸地猛 久米島町議会議長による乾杯が執り行われ、年間を通して購買頭数

の多かった購買者、販売実績が良かった畜産農家の方々へ感謝状が贈られました。

セリでは、子牛216頭、成牛9頭が落札され、子牛の落札平均価格は雌649,173円(税込)、去勢778,412円(税込)、最高価格は仲里智さん(字宇江城)の去勢子牛が1,171,800円(税込)と、昨年の初セリを上回る結果となりました。

○多頭販売者	○年間最高価格販売者
・翁 長 豊	・去勢の部 白 道 政 秀
・知 念 幸 真	・雌の部 山 城 義 明
・(株)たから	

久米島の社会教育の充実の為に

久米島社交ダンス同好会より寄付がありました

1月18日、久米島社交ダンス同好会の惣慶長吉会長が教育委員会を訪れ、昨年12月に開催された「第16回クリスマス社交ダンスパーティー」の収益金の一部を「図書館等の社会教育に使って欲しい」と寄付を贈呈しました。

吉野教育長は「有効に使わせていただきます」とお礼を述べました。

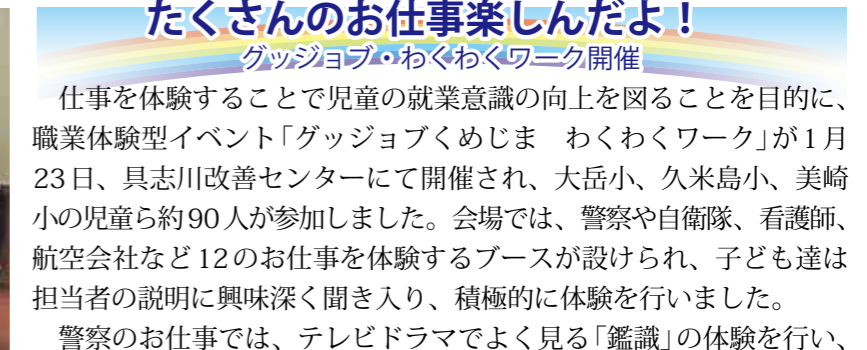


たくさんのお仕事楽しんだよ!

グッジョブ・わくわくワーク開催

仕事を体験することで児童の就業意識の向上を図ることを目的に、職業体験型イベント「グッジョブくめじま わくわくワーク」が1月23日、具志川改善センターにて開催され、大岳小、久米島小、美崎小の児童ら約90人が参加しました。会場では、警察や自衛隊、看護師、航空会社など12のお仕事を体験するブースが設けられ、子ども達は担当者の説明に興味深く聞き入り、積極的に体験を行いました。

警察のお仕事では、テレビドラマでよく見る「鑑識」の体験を行い、体験後の児童は「指紋を見るのが楽しかった。将来やってみたくが増えた。」と感想を述べました。



日々の成果を発表

第15回久米島町ヤングフェスティバル開催

「第15回久米島町ヤングフェスティバル」が1月22日、具志川改善センターで開催されました。

このフェスティバルは、「若者の自主性や創造力を育むこと」を目的に開催しており、今回も12団体が参加。フラダンスやピアノ演奏、琉球民謡、空手古武道、太鼓演舞等、日頃励んでいる活動の成果を発表しました。

また、フェスティバルにおいて、学校や地域活動等において模範となる活動や活躍のあった児童生徒を讃える「久米島町教育委員会児童生徒表彰」も行われ、学校から推薦のあった児童生徒12人・1団体が表彰を受けました。

会場には、保護者をはじめ約300人が来場し、子供達に激励の拍手が送られ、フィナーレでは出演した子供達と会場が一体となって「海の声」を合唱し、全演目を終了しました。

